

アクリンAB液

石材用

用途

- 石材・レンガやコンクリート等の多孔質基材・タイル等についた汚れ・ヤニ・コケ・ジュースなどのシミの除去。
- トイレのおだれ石の尿シミ・汚れ落とし。
- 日常清掃、定期清掃における石材床の洗浄。

※ 頑固な水垢、油シミ、サビ汚れ等には弊社洗浄剤ピカソ、オリーブをご使用ください。

使用方法

- ① 基材を水洗いして表面の土砂等の堆積汚れを除去してください。砂がついたまま洗浄作業を行うと石材に傷が付く場合があります。
- ※ ワックス等が塗布してある場合は、ワックスを剥離してください。
- ② アクリンA液・B液を1:1に混ぜ、原液～5倍に水道水で希釈した混合液をハケ、ブラシ、ローラー、モップ等で均一に塗布してください。
- 希釈の目安は部分的なシミのときは、原液～5倍希釈、日常清掃または定期清掃のときは10倍～20倍でお使いください。
- ※ 使用分量だけをポリまたはプラスチック容器(金属は腐食します)に入れてお使いください。
- ※ A液・B液の混合液は時間とともに効力が低下しますので、ご使用毎に混ぜてお使いください。
- ※ 幅木等の金属部分を養生してください。
- ③ 5～10分放置後、ナイロンタワシ、ブラシ等でこすりながら水洗いしてください。
- ポリッシャー洗浄するときは、御影石バーナー仕上げや磁器タイルには、ナイロンブラシをお使いください。御影石鏡面仕上げなど艶のある石材床面には、傷のつかない白か赤バットをお使いください。
- ※ 1回の作業で汚れが残るときは上記作業を繰り返してください。汚れが落ちたら十分な水洗いをしてください。
- ※ 頑固なシミ、汚れには、弊社湿布吸着剤『トルネード』を併用されると効果的です。トルネードの使用法に関しては、カタログをご参照ください。
- 使用後の『トルネード』は不燃物として処理してください。
- ※ アクリンABを塗布したまま長時間放置するとツヤボケする恐れがありますので注意してください。

 標準使用量 10～15m²/ℓ

業務用
AB各4ℓ・18ℓ
医薬用外劇物

A液 過酸化水素水 30～40%

■ 取扱店

使用上の注意

- ① 使用上の注意及びMSDSをよく読んでからお使いください。
- ② ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。本施工前に必ずテスト施工を行い、施工面及び周辺基材への影響をご確認ください。
- ③ アクリンAは **医薬用外劇物** ですので取り扱いにご注意ください。
- ④ **素手でさわると危険です。**作業時は必ず保護具(ゴム手袋・保護メガネ、エプロン等)を着用してご使用ください。
- ⑤ 水道水以外のものと混合しないでください。
- ⑥ 保護剤を塗布するときは、アクリンABで洗浄後、よく乾いてからにしてください。
- ⑦ 芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。
- ⑧ 取り扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- ⑨ 取り扱い中は、必要に応じて防毒マスク又は送気マスク、不浸透性の保護衣、長靴及び保護手袋を着用してください。
- ⑩ 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをし、医師にご相談ください。
- ⑪ 皮膚に付いたときは、速やかに水で洗い、医師の診察を受けてください。液が皮膚に付着すると皮膚障害をおこすおそれがあります。
- ⑫ 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑬ 一度別の容器に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑭ ガス抜きキャップ仕様のため、アクリンABを横倒しにすると液漏れしますのでご注意ください。
- ⑮ 法の定めにより、品名・数量・購入年月日・氏名・職業・住所を記入した購入申込書でご注文ください。
- ⑯ 施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。
- ⑰ 用途以外には使わないでください。

- アクリンABは木材用と石材用の兼用になっています。
(容器ラベルには片面ずつそれぞれの使用方法が記されています。)
- ホルムアルデヒドを含有する原料は一切使用しておりません。
- 製品の改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

製品有効期限:未開封冷暗所保管で製造より1年


株式会社ミヤキ

 本社:福岡市中央区大手門1-2-23-1105
 TEL 092-713-0001 FAX 092-741-8606
 須恵工舎:福岡県糟屋郡須恵町植木1341
 TEL 092-937-3008 FAX 092-931-8081
 URL:www.miyaki.com

 営業所
 札幌、仙台、長野、北関東、千葉、東京第一、東京第二、東京第三、埼玉、神奈川、静岡、名古屋、大阪第一、大阪第二、広島、福岡、佐賀、宮崎


2014.06.1M